

# コースのご案内

## ふるさと・ふれあい「歴史の郷を歩こう」

越前市健康21ウオークは、ふるさと・ふれあい「歴史の郷を歩こう」をメインテーマに掲げ、あまり知らない越前市の古い町並みや風景を肌で感じながら歩いていただき、日々の健康維持につなげていただくことを目的としています。

市街地を巡る6キロコースは、そのエリア内に奈良・平安時代の越前国府や寺院などの関連施設、南北朝時代の城柵、戦国朝倉時代の府中奉行所、さらに江戸時代の府中城や武家屋敷など、多くの知られざる歴史遺産が地中に眠っています。また、数々の由緒ある神社仏閣をはじめ、駅舎、医院、庁舎、商店など国登録文化財の満ちた街並みを巡るコースを歩きます。歩みを進めると、ベンガラ格子や袖壁など昔の面影を色濃く残す家々、個性豊かな商店の看板、松並木と絶え間なく流れる町用水などに出会い、こうした歴史の景観が豊かに残されているのも武生の魅力の一つです。

13キロコースは上記のコースと併せて、福井鉄道北府駅をコースの分岐点とし、吉野瀬川桜橋東詰から今年開通した新設の都市計画道路・戸谷片屋線を東に歩きます。

2キロコースは、今年4月、日本を代表する絵本作家・かこさとし(加古里子)さんの絵本館が開館したのを記念して、彼の代表作「だるまちゃんとかみなりちゃん」をコース名といたしました。歩くことは人間の基本であり、幼児期は人としての基礎が形成される最も重要な時期です。歩くことによって、自然や歴史に触れ、親子と仲間との交流を通じ、豊かな心と生きていく力を養う「歩育」を目指しています。

爽やかな秋の涼風を満喫しながら、本日のウオークを十分にお楽しみください。これを機に、継続的な歩く習慣へとつながっていただければ幸いです。

### 登録文化財

平成8(1996)年に創設された文化財登録制度により、国の文化財登録簿に登録された有形文化財のことで、主に都市開発などで消滅が危ぶまれる近代建造物が対象で、築後50年以上がた、「歴史的景観に寄与し」、「造形の規範」となるもの、「再現が容易でない」ものを選考の基準としています。越前市内で15件の建造物が登録されています。

### N 旧井上歯科医院(京町三丁目)

登録文化財

井上歯科医院は、明治41(1908)年に建てられた寄棟造瓦葺(よせむねづくり)の木造2階建ての建物です。形状は正面約8.2m、側面約7.6mのほぼ正方形平面で、木造家屋とは思えない外観を有する。正面はモルタル洗出し仕上げを施し、両側の鉄骨を付けた木製の上げ下げ窓が配されています。全体に洋風の意匠をまとい、かつ防火意匠を反映した土蔵造の様相を呈しています。正面左側に入口を持ち、診察室は洋風意匠で1階北側に設けられています。大工は当地の田舎藤太郎、前面の塼と外観の緻密な装飾は全て武生の名工左官職・2代目石野芳次郎が施工しました。明治初期の西洋風建築を思わせる容姿や、細部の意匠にこの時代の面影を見ることが出来ます。



### M 丈生幼稚園(京町三丁目)

登録文化財

引振寺境内に建つ丈生幼稚園舎は、明治32年(1899)頃に建築された福井市にあった福井県警察部庁舎を、大正13年(1924)に移築改修したものとされています。園舎は寄棟造瓦葺(よせむねづくり)の木造2階建て、方形造瓦葺の屋根(ほうろう)を屋根の中央部に載せ、意の上部にアーチ欄間(らんま)を持つなど、明治期の警察庁舎の様子を今に伝える貴重な建物です。外観はほぼ当初の風貌が保たれ、扉内には数少ない典型的な西洋建築のひょうすずり。園舎正面の車寄(くるまよせ)の大きな妻には、警察官を象徴する鷲の文様をあしらった菊水紋が特に印象的です。



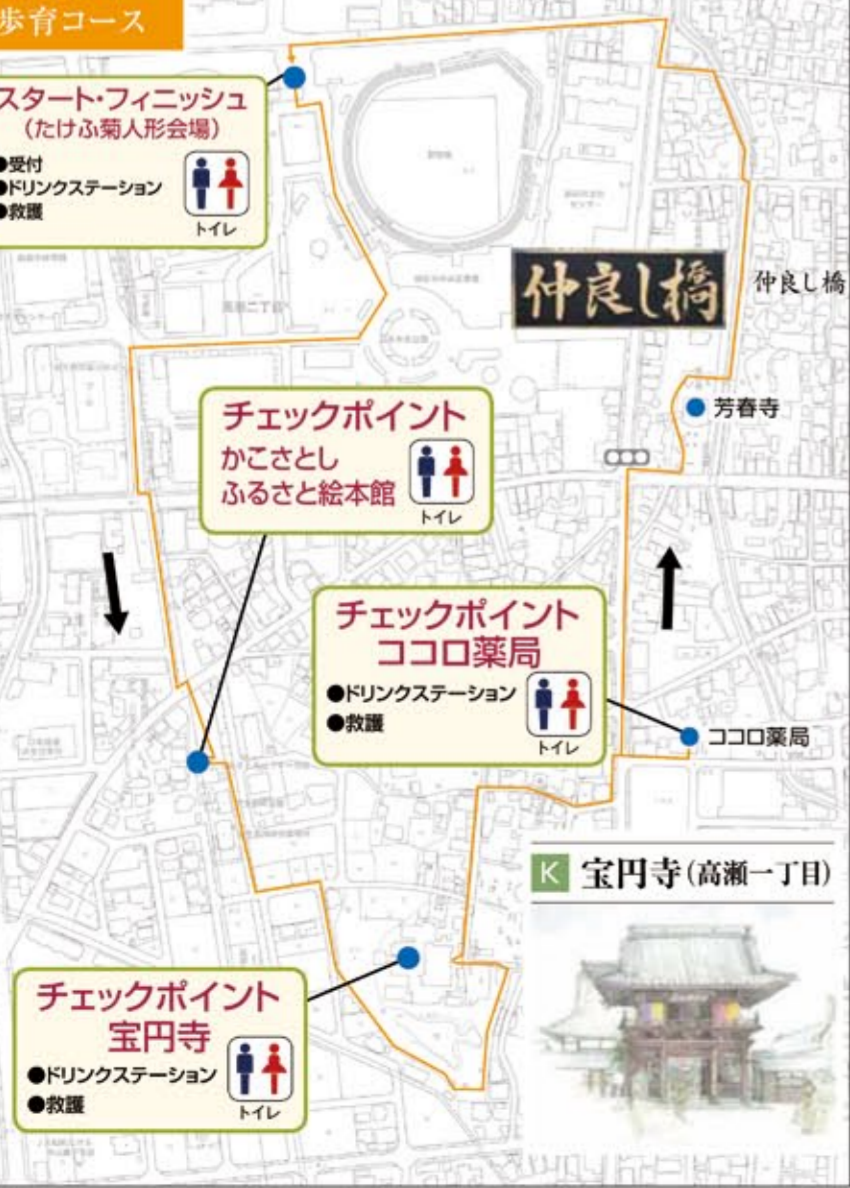
### L 聖徳太子堂(平和町)

登録文化財

聖徳太子堂は正面一間(約2.94m)、側面二間(2.94m)の正方形平面の小さな堂です。堂内の棟札から、嘉永元年(1848)に再建のち、明治16年(1883)に現在の様な屋根形式にされたものと考えられています(『福井県南条郡誌』は天保10年(1840)再建とあります)。堂内には聖徳太子立像を中心に、両脇に阿彌陀三尊立像、天神半像が安置されています。太子が大道具として欠かさない「さしね」を作ったとされることから、大工など建築に携わる職人の信仰を集めています。宝形造瓦葺(赤瓦)葺(はうぎょうづくり)の大きな屋根と、薄緑色の笏笏瓦(しゃくしゃくい)製の力強い大きな相輪(そうりん)、そこから四方に伸びる宝篋(ほうさく)、風鐸(ふうたう)が印象的です。



### キッズ2キロ歩育コース



### A 福井鉄道西武生駅舎(北府駅舎)(北府二丁目)

登録文化財

北府(きたご)駅は、大正13年(1924)2月23日に「西武生駅」として開業しました。福井鉄道はこの年に営業を開始した福武電気鉄道前身として、駅舎は、平成22年(2010)3月25日に現名称の「北府駅」に改称されました。駅舎は本造で洋風切妻造瓦葺(きりづまづくり)さんかわらぶき)平屋建てで三方に下屋を付け、さらにプラットホームが東側に続いています。駅舎の老朽化にともない施設の整備が必要となり、平成24年(2011)3月15日、文化的価値を考慮して可能な限り旧状を留めての復元的改修が完了しました。かつて北側にあった駅務室、機器室、和室(宿直室)は旧時を偲ぶ鉄道資料を展示するギャラリーとして生まれ変わりました。



### B 車両整備庫



#### 200形

200形は福井鉄道が発注したオリジナル車両で、昭和35年(1960)と同37年(1962)に日本車輦で製造されました。電気ブレーキや連結構造など当時としては最先端の技術が導入された車両でした。現在、2連3編成の6両が在籍、運行しています。昭和30年台の車両が現役で半世紀以上活躍しているのは、全国的に見ても大変珍しい存在といえます。

### C 煉瓦橋脚(旧南越線)

昭和56年3月、社武生-粟田部間の廃止により南越線は全線廃線になりました。日野川に掛かるかつての鉄橋は、歩行者や自転車の通行専用の橋となり、「八幡歩道橋」として転用されています。鉄橋を支える橋脚の中には、川底から丁寧に積み上げられた赤煉瓦(れんが)の橋脚も見られ、当時の面影をそのまま残しています。



### D 越前市武生公会堂記念館(蓬萊町)

登録文化財

旧武生公会堂は昭和天皇即位の御大典記念事業として建築が計画され、昭和4年(1929)1月18日に完成しました。構造は鉄筋コンクリート造地上2階建てで、戦後4度に渡り改修が行われました。さらに、平成7年(1995)公会堂の保存が決まり一部復元を加えて大規模に改修され、現在は郷土資料を展示する施設として活用されています。かつて2階には530席収容の大講堂が設けられ、外壁は色入造石洗出し仕上げ、内装は漆喰(しっくい)を主としていました。玄関ホールは柱間の透かし窓、独立門柱の柱頭、階段の手摺に昭和初期のモダンな意匠を見ることが出来ます。



### E 株式会社南越(旧中村商店)(蓬萊町)

登録文化財

南越の商店家は、明治45年(1912)ごろに建てられた従来の2階建て町屋の屋根を昭和5年(1930)ごろ撤去し、新たに3階部分と開口幅いっぱい大きな妻を前面屋根上に増築した木造3階建ての建物です。建物内部にも改築の痕跡が見られ、学術調査によって南側は表から裏1階で続く土間「とおり」を備えた町屋の間取りであることがわかりました。2階以上の壁面は、上部に浅い露除(きりよけ)底(のさし)を設け、額縁を鋼板で覆った大きな縦長の窓を規則正しく配しています。全面を洋風意匠で改築した昭和初期の木造商店の姿を留め、かつ数少ない木造3階建てです。



### G 正覚寺大樹



### HIJ 越前青石(笏笏石)の造形

青石は、福井市足羽山一帯で採掘され、別名「笏笏石(しゃくしゃくい)」とも呼ばれています。薄青色で、きめが細かいものが彫刻に使われ、荒いものは石垣や家屋の基礎石に使われました。きめの細かいものが上質とされています。寺社参道の敷石をはじめ、旧城門の屋根瓦、土蔵の基礎、石仏、墓所、用水路の石橋など、身近に残っているこれら青石の歴史的景観の果たす役割は大きいといえます。



### F 地中に眠る国府 関連出土品 [公会堂記念館にて展示中]

越前国の国府(国衙・政府)は現在の旧武生市街にありと推定されています。平成8年度に行われた府中城跡B地点(旧武生市立図書館西隣付近)の発掘調査では、越前国の官守を指すと考えられる「国大寺」「国寺」「大寺」などが発掘された土器が出土しました。これは越前国府や同分守の研究に一石を投じる発見となりました。また、7世紀から8世紀にかけて採掘していた王子保楽跡からは、皿、盃(ふたつき)、高坏(たかつき)、密(かめ)など日用品の製品が出土しました。このほかに寺院や役所へ供給されたと考えられる胎尾(しび)、軒丸瓦、軒平瓦、埴(せんぶつ)、写経や執務上欠かせない円面瓦や水清などの文房具が出土しています。国府の置かれた時期が室の採掘時期と重なっていることから、一般的ではない特殊な製品を生産していた王子保楽跡は、国府や周辺寺院と密接な関係にあったと考えられます。継続的な発掘調査が、越前国府を解明する唯一の方法といえるでしょう。



### 13キロコース「都市計画道路からの眺望 新設の戸谷片屋線を歩く」

消費カロリー 約560kcal) IIV対象

6キロコース「越前府中の小路探訪 懐かし町並みを歩く」

消費カロリー 約250kcal

キッズ2キロ歩育コース「だるまちゃんとかみなりちゃん」

消費カロリー 約80kcal

※消費カロリーは、体重60kg、速度5km/hでの歩行を目安としています。

